

令和7年度第4回交通会議議事要旨 (令和7年11月28日)

令和8年1月29日

南 城 市

1. 議事次第

令和7年度（第4回）南城市地域公共交通会議

日時：令和7年11月28日（金）13:30～

場所：南城市役所1階 大会議室

次 第

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議 事

1. おでかけなんじいの運行区域変更計画について・・・資料①

4. 討議

1. 南城市地域公共交通計画骨子（案）について・・・資料②、
参考資料①～③

5. 報 告

1. 令和7年度第2・3回議事報告について・・・資料③

6. その他

配布資料一覧	資料①おでかけなんじいの運行区域変更計画資料 資料②南城市地域公共交通計画骨子（案） 資料③令和7年度第2・3回会議議事要旨 参考資料①路線バス・Nバス乗降調査結果 参考資料②地域とのコミュニケーションの実施状況 参考資料③交通事業者との座談会の実施状況
--------	--

2.おでかけなんじいの運行区域変更計画について

番号	委員	事務局
1-1	<p>おでかけなんじいの八重瀬シティ乗り入れについて、乗務員とも話したが、お年寄りの利用が多いので店舗へ乗り入れができると良い。乗降場所は、1階だと個人タクシーの乗り入れもあり、お客さんが間違えて乗ってしまう可能性がある。2階の屋上は、エレベーターがある出入口に停めて乗降することができる。乗務員にも確認したが、2階への乗り入れでも問題ないとのことであった。</p> <p>開始は4月からではなく、可能であればもっと早くしても良いのではないか。</p> <p>(知念委員)</p>	<p>開始については、手続き処理期間もあり令和8年4月としていたが、沖縄総合事務局に相談して、早めに処理できそうであれば、周知も含めて早く開始できるように調整する。</p>
1-2	<p>運行台数3台だが、3台で回せるのか。それ以上ではできないのか。</p> <p>(町田委員)</p>	<p>平日3台、土日祝日2台で運行している。予約が混み合う時間帯もあるが、全体で見ると空時間帯もあるので、現状はこの台数で賄われていると考えている。</p> <p>増便、減便の基準があり、利用状況に応じて増減の検討をする。</p>
1-3	<p>庁内でも検討したが、八重瀬町としては歓迎である。現状は、片側一車線の県道沿いの交通渋滞があるところで乗降をしているので、サンエーさんの同意が得られているのであれば、対応していただきたい。周知については八重瀬町も協力する。</p> <p>(八重瀬町企画財政課 伊盛)</p>	—

2.南城市地域公共交通交通計画骨子（案）について

番号	委員	事務局
2-1	<p>P2では、交通拠点の形成・強化に「先導的都市拠点」の記載があり、P3では、南城市役所は「中心拠点」と示されている。</p> <p>P4では、「中心拠点」、「交通拠点」の表現がある。「中心拠点」と「交通拠点」の違いはあるのか。「中心拠点」は「交通拠点」と同じで、南城市役所と理解で良いか。文言はなるべく統一した方が良い。</p> <p>(慶田委員)</p>	<p>P2は、南城市都市計画マスタープランに記載されている文言で「先導的都市拠点」となっている。</p> <p>P3は、今回の計画を作っていく中での、ネットワークイメージとして、交通拠点イメージを載せており、その「中心拠点」は南城市役所とし、「副拠点」や「地域拠点」と繋がっている。4ページの「交通拠点」は、「中心拠点」や「副拠点」など含めたものとしている。</p> <p>文言の説明や位置づけを、分かりやすくなるように工夫する。</p>
2-2	<p>P4のバスターミナルの整備検討について、南城市役所周辺にバスターミナルを設けると聞いた。なかなか進んでないが、ここがバスターミナル整備地域との理解で良いか。</p> <p>(慶田委員)</p>	<p>合併当初から、市役所周辺にターミナルを持ってくる構想がある。現時点で、どこに建てるかなど細かい部分は決まっていないが、市役所周辺での整備を検討している。現在もバスターミナルの構想は持っており、周辺の土地利用の構想の中で、整備ができないかを検討している。</p>
2-3	<p>他市町村に先駆けて、ワークショップや座談会を開催し、市内の移動の利便性は上がってきているが、市外線の方は厳しい状況が続いている。利用促進について計画されているが、具体的な計画があれば教えて欲しい。</p> <p>(屋宜委員代理)</p>	<p>利用促進については、細かな取組もあるが、バス事業者と共同で何かできないか検討したい。これまでは単体のイベントが多かったが、他の分野と連携しながら利用促進イベントに力を入れたい。公共交通を身近に考えるような詳細な施策については、これから一緒に検討させてほしい。</p>
2-4	<p>P4の進捗管理に、「マネジメント・モニタリングチームを設置」とあるが、座談会と同じメンバーになるのか。</p> <p>(比嘉委員)</p>	<p>交通にかかわる住民なども含めて、施策の進捗管理等するチームを検討している。メンバーは、交通事業者が関わっている座談会をベースに予定しており、次の座談会で検討していく。</p> <p>行政だけではなく色々な方々から話を聞きながら、チェックをするというよりも一緒に進めていくという視点で交通事業者などにも入ってもらいたい。</p>
2-5	<p>P1の上位関連計画に、「与那原方面とは基幹的バスシステムを検討する方向」とあるが予定があるのか。</p> <p>(小松委員)</p>	<p>沖縄県の計画にイメージ図としてはあるが、沖縄県と意見交換した際に、イメージなので必ず通すというわけではないと話していた。書きぶりを再度検討する。</p>

番号	委員	事務局
2-6	<p>P1 の財政負担の人的費について、二種免許取得の補助があっても、若い人は入っていない。若い人に入ってもらうためには待遇を良くする必要がある。</p> <p>P4 の施策メニュー5-1 に「みんなで公共交通を育てる」とあり、病院送迎等の混乗化なども進めていければ、新たな取組として良いかと思う。</p> <p>(喜屋武委員)</p>	<p>送迎サービスを行っているところの調査を行ったが、送迎サービス等との混乗化は現状では厳しい状況である。輸送サービスの状況は、都度変わってくるので、情報収集を継続して活用できるところがないか、この計画期間の5年間の中でも確認していく。</p>
2-7	<p>P4 の「公共交通を育てていく」に加えて、「守っていく」ということも入れてほしい。「育てていく」のもとても大事であるが、我々の世代から次の世代に引き継いでいくことも大事である。P1 の「財政負担は増加しています」とあるが、公共交通を守り育てるために市として取り組むなどの表現もあれば、交通事業者も安心である。</p> <p>(慶田委員)</p>	<p>「守っていく」の文言をいれるかどうか検討する。市民に分かりやすい文言にしているが、ぼやけすぎて伝わらなくなるないように文言を選んでいる。市民が自分事として認識できるように検討する。</p>
2-8	<p>P3 の公共交通のR・デザインの柱の中に、交通 DX、交通 GX が位置付けられているが、P4 の施策メニューには出てこないため整理が必要である。また DX については、既にタッチ決済など進めている。あえて出さなくても、何らかの表記の工夫してほしい。</p> <p>(眞会長)</p>	<p>P4 で交通 DX と交通 GX について触れるか、P3 の課題に記載するののかも含め検討する。</p> <p>DX について、Nバスと東陽バス 37 番系統に、来年 2 月を目途にクレジットカード決済の機能を導入する。南城市 MaaS アプリの実証も 1 か月程度行う予定である。</p>
2-9	<p>クレジット決済は、沖縄バス、那覇バス、また琉球バスも導入しており、高速バスや 20 番、120 番などのインバウンド需要が多いところに入れている。乗務員の負担も軽減できて、どこで乗ってどこで降りたなどのデータもすぐ取れる。非常に便利なので導入はとても良いと思う。</p> <p>(小松委員)</p>	<p>インバウンドで路線バスの支払い時に、1 万円を出して両替の対応や、運転手さんとのやり取りで遅れが出るなどの話が出ていた。クレジット決済導入で、運転手不足解消や働きやすい環境に繋がると思う。</p> <p>また Nバスの OKICA 利用では、降りたバス停のみ分かるが、クレジット決済では乗降が分かるようになる。</p>
2-10	<p>利用しやすくするという点で、台湾に行ったときに、自分の乗るバスがあとどれぐらいで着くかすぐ分かった。待ち時間が分かると買い物などに時間を有効に使える。現在は、予定表はあるものの、何時に着くかが分からないので、その辺にあるものを活用して、情報が共有できるようになると利便性が高まると思う。</p> <p>(町田委員)</p>	<p>バスロケーションシステムを南城市でも導入しており、Nバス HP でも見ることができるが、なかなか周知できていないところがある。P4 施策の視点③にも記載しているが、もっと情報発信していく。</p> <p>現在のバスロケーションシステムは、分かりやすさにも課題があるため、年度内に入れ替える予定である。QRコードも導入して、バス停ごとに到着時間が分かるようにしていく。</p>

番号	委員	事務局
2-11	<p>タクシーは非常に進んでおり、DiDi や GO、Uber などのアプリを使い、ほぼタッチ決済になっている。近いうちに殆どのタクシーが導入すると思う。アプリで呼ぶとタクシーがどこにいて、あと何分で着くか全て分かる。利用すると手数料は取られるが、便利なのでお客さんもよく利用して支払いもタッチ決済です。履歴も残るので、DX としてバスでも推進した方が良いのではないかと。また、忙しいときの売り上げは、クレジット決済が40%を占めている。</p> <p>(知念委員)</p>	—
2-12	<p>参考資料②、P5のオープンハウスの意見で、「パークアンドライドの存在・利用方法が知られていない」とあるが、南城市は整備されているのか。</p> <p>(慶田委員)</p>	<p>市役所の横にある公共駐車場がパークアンドライド駐車場となっている。市民や近隣市町村の利用は進んでいないが、今後周知を図り、展開していきたい。</p> <p>このアンケートの際に、100円/24h と話したら、知らなかったと言われた。情報発信に力を入れていく。皆様の周りにも情報を伝えていただきたい。</p>
2-13	<p>公共駐車場に放置車両が出てくると思うが、その対策はあるのか。</p> <p>(町田委員)</p>	<p>民間事業者に委託して管理をしている。何日も駐車していると持ち主に連絡をして、利用料金を支払って出ていくようにしている。今のところ、放置車両は発生していない。</p>
2-14	—	<p>バスターミナルについて、公共駐車場の西側に土地を購入しているが、市では、つきしろ地区の開発と複合施設の整備を先に進めており、この2つの事業が終わると、進める予定である。バス会社3社が同意してもらえるかが大きなカギである。3社が集約するとなれば広大な土地が必要になる。路線バスは減便していて、インバウンドが増えている中で、レンタカーに頼らない観光が目指すべき方向ではある。皆さんと一緒に計画を立てていくように指示しているので、大きなプロジェクトが2つ終わり次第、調整を進めていくのでご協力をお願いしたい。</p> <p>(當真会長)</p>
2-15	—	<p>骨子も含めた交通計画(案)については、改めて議論の場を設ける予定である。その後、最終的な決議をいただきたい。</p>